

■「皮膚のサポートチンクチャーを使い、 短期間のセルフケアで改善したとびひのケース」

日本ホメオパシーセンター福井恐竜溪谷
JPHMA 認定ホメオパス No.0244
鎌田 砂江子(かまだ さえこ)

【クライアント】

3歳1ヶ月男児

【主訴】

幼稚園にて、とびひの疑いありといわれた

※ホメオパシー治療を選択した経緯

皮膚科では飲み薬と塗り薬の両方から抗生物質を与えないとダメと言われたが、ご家族は薬剤を使いたくないため、ホメオパスに相談することにした。

【ケースまとめの動機】 ご家族で相談会をお受け下さっているクライアントさんからの、問い合わせでしたので相談会ではなく、**MT)サポート皮膚によるセルフケア**をお勧めしたところ、治癒の経過のお写真をお送りいただいたので、ホメオパシーによるセルフケアの参考になればと思いまとめさせて頂きました。

【タイムライン】

- 20180710 幼稚園にて、とびひの疑いありといわれた。
皮膚科受診したところ、飲み薬、塗り薬の両方の抗生物質を処方されたが
薬剤を使用したくないので、ホメオパシーのキットの粒レメディで対応
- 20180715 症状が動かないので、ホメオパスに相談
MT)サポート皮膚によるセルフケアを開始
- 20180722 完治 皮膚がきれいになり、益々元気に。

【考察】

とびひなどお子さんのかかる病気の場合、ご自身で粒レメディを選ぶのが難しく、セルフケアに自信がないとお考えの場合でも、とらこ先生開発のホメオパシーサポートチンクチャーを利用することで完治にいたったケース。サポートチンクチャーをとることで症状が動き、一見酷くなったように見えても、日に日に症状が改善していくことが分かるケース。

＜写真でみる治癒の様子＞



①とびひの疑い



②MT) サポート皮膚1日目



③MT) サポート皮膚 2日目



④MT) サポート皮膚 3日目



⑤MT)サポート皮膚 4日目



⑥MT)サポート皮膚 5日目



⑦MT)サポート皮膚 6日目



⑧MT)サポート皮膚 7日目



MT)サポート皮膚を
とり始めて8日目で
完治！

⑨MTサポート皮膚 8日目

【考察】追記

とびひなどの皮膚による感染症の場合、レメディをとり始めても直ぐに症状が消えるわけではなく、症状が広がることで一見悪化したように感じるかも知れませんが、病気や症状は身体の中にある老廃物を出し切ることで良くなっていくことをご理解いただき、自己治癒力を信頼し不安を感じることなく笑顔で過ごせる事をより多くの方に知って頂きたいと思います。

カテゴリー：[アレルギー・アトピー・皮膚疾患] [子供]